



触しずくのの宴うたげ

ToLOVEる
BOOK
No'2

R·R·R
96TH BOOK
FOR ADULT ONLY

触【しょく】

①ふれる。さわる。

②きっかけとなる

～国語辞典漢字解説より

男の浪漫！！

～魔公子脳内辞典より



こんにちは。サークル『RED RIBBON REVENGER』
の魔公子と申します。

今年の夏コミ新刊2冊目は週間ジャンプ新連載の
「ToLOVEる-とらぶる-」本第2弾です。
第一弾と同時発行と、かなり無理なスケジュールでしたが
最近稀にみるハマり具合だったので
疲れ果てながらも常時ハイテンションで描けました。

特にジャンプ28、29号を読んでからは
もうテンション上がりまくりで…
だって触手プレイですよ！
股の間潜って「んっ…！」ですよ！！
そんなわけで、今回は春菜触手本となりました。
原作ほどエロくないですが（泣）

とらぶる本は第3弾も近々発行予定です。
その後も続くかもしれませんので
今後ともどうぞご期待を頂ければ幸いです！

目次 RED RIBBON REVENGER 魔公子

| | | |
|---------------|------|----|
| 「触の宴」 | 魔公子 | 7 |
| 「たいまんが」 | たいれる | 24 |
| 「はやまんが」 | 葉山 | 27 |
| イラスト | 魔公子 | 37 |
| 居酒屋れっど本日のメニュー | | |
| 対談コーナー | | 30 |
| 帝国興亡史 | | 40 |



この娘も
なかなかどうして...

結城リトを
おびき寄せたために
捕まえてみたが...



フフッ
少し遊んで
みるか



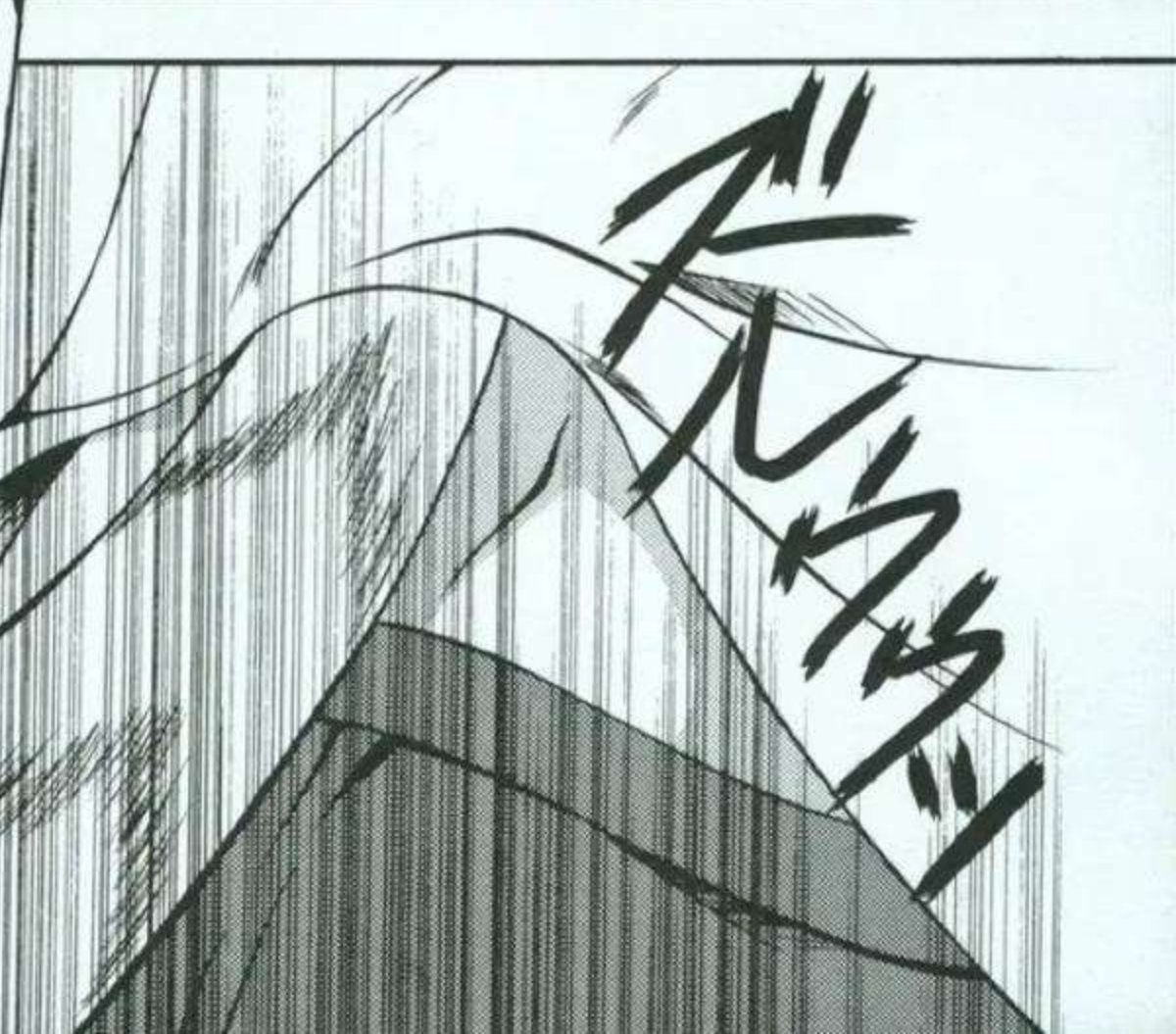
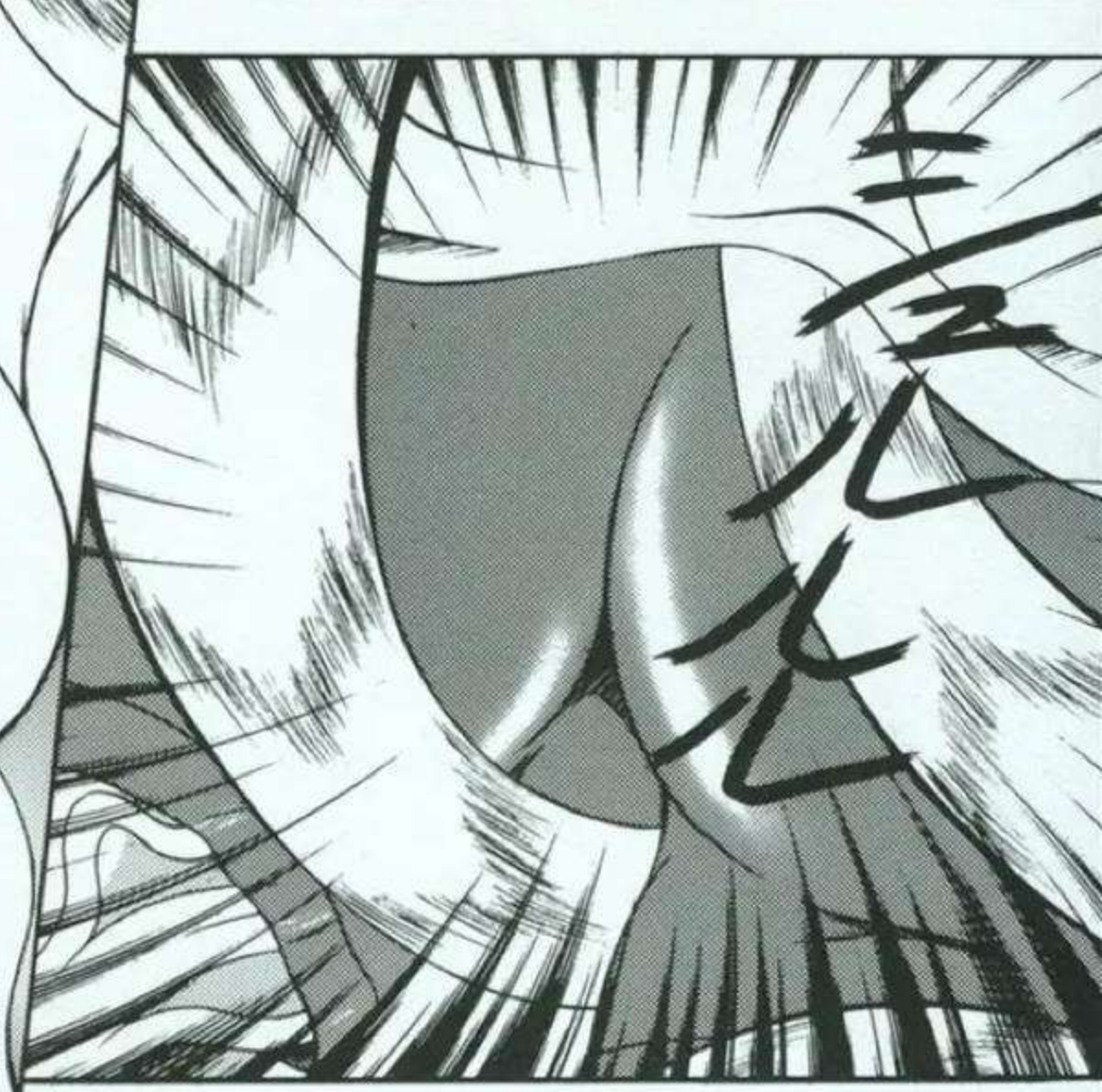
んっ...



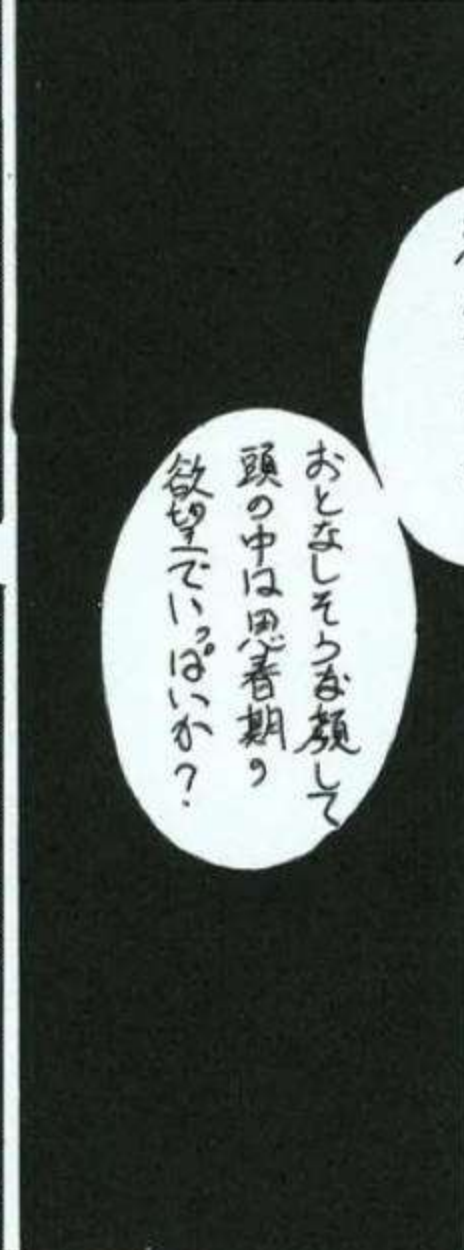
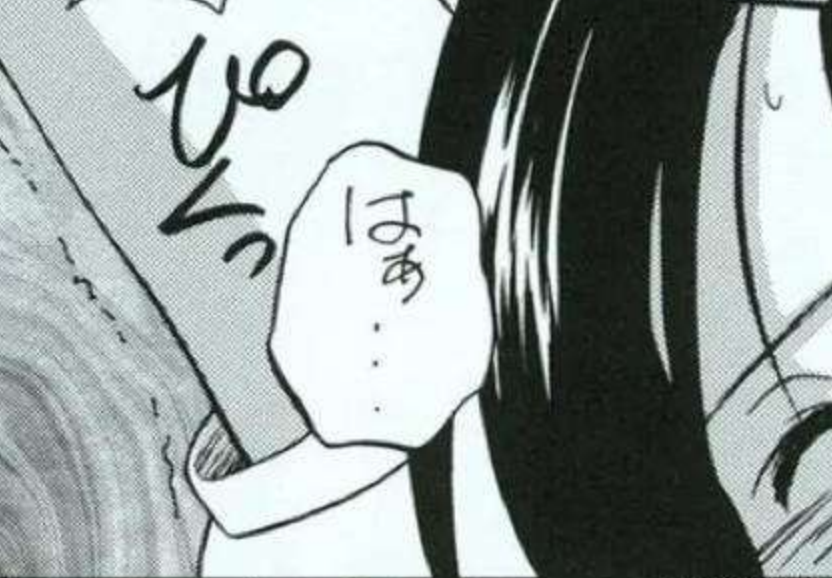
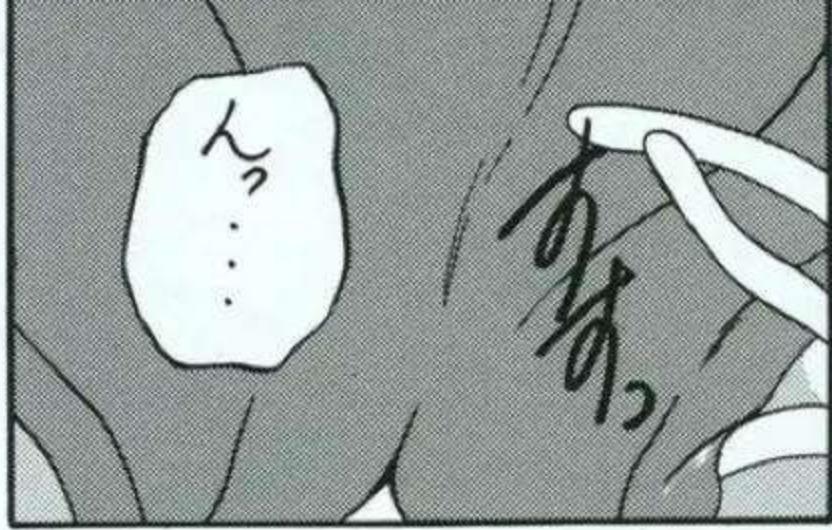
触の宴

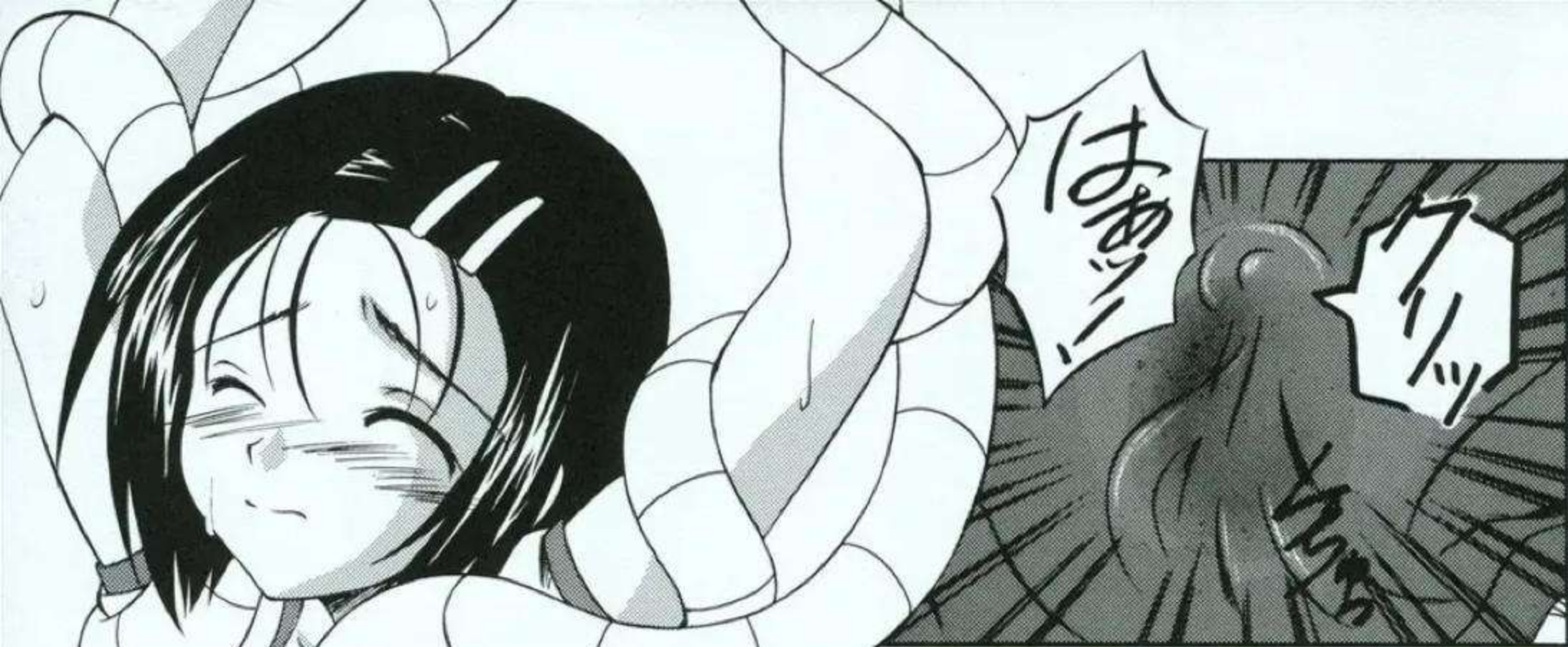
作 魔公子













ようこそ
西連寺春菜

お前

んっ...

ひっ！
なっ何？！

いっほ
お前の夢の中

ゆ夢...!?

えうせ
自分の姿を
よく見てみろ

クワッ
これはお前が
密かに望んでた夢

オレはお前の
みだろな欲望の
化身でわけだ

!?

えっ...そんなの
うんよ!!

オイオイ
現実にオレみたいな
化物がいたか?

それに...
お前はなんで
濡れてるんだ?

...えっ?
あ...そんな!

なっ
これは夢
なんだって



ハッ!
こいつあの男と
木してんのか!
まらば...

結城だっとううと
よろしくやさん(笑)



自らの欲望に
素直にならなさんか

あ...

はあっ

こ...こも
私...

結城くん
...あ

ズルズル



あ...

だから
お前も楽しん
じまえよ!

はあっ!
あ...あんち



れん

ズルズル



こんなに
感じやがって
本当に初めてか？

結城の事を
考えながら
夜な夜な自分を
慰めてるんだろ！

ぬ
ちゅ

ど
ちゅ

お
あ
ん
ちゅ

お
あ
ん
ちゅ

ど
ちゅ

ど
ちゅ

あ
は
あ

ど
ちゅ

ど
ちゅ

ど
ちゅ



あああ

アッ
アッ

ああ...
「あんな」...

アッ
アッ



えんな
激し...

ひっ!

アッ
アッ

清純まろみ顔して
この
淫乱娘がっ!!

ああ
アッ



ああ
アッ

アッ
アッ





ああ...
だめえー!

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

はあ
あーっ



だっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ



もり
だめえッ!!

あゝ...
結城くんの肩まのこ

ひびく!!

あゝ...

あゝ...

あゝ...うめ
んっちやうっ!

あゝあゝん!!

その時、歴史は動いた…

西暦2006年4月24日

ジャンプの歴史が1つの転機を迎えようとしていた。

永きに渡って男性読者に対し鎖国政策を

とってきたジャンプ国に

新たな歴史をもたらしたその黒船の名は

「T o L O V E る~とらぶる~」

この後ジャンプ国に吹き荒れる

萌え維新の幕開けであった…

てな訳で、久しぶりに読んだジャンプで
とらぶるにくぎづけになってしまった魔公子です。

特に28号の触手プレイには

キスに慄くゼントラーディ人のごとく

大きな衝撃が…。

で、今回の漫画を描いたわけですが
ごめんなさい…続いてしまいました…。

以前のスタオー本の時もそうでしたが
あまりにもハマってしまうと話が長くなりすぎてしまって。

続きはなるべく近早いうちに作るつもりですので

お許しを頂ければ幸いです。

2006' 8' 1 魔公子 拝

夕飯には困ります

ども
たいれるです
仕事帰りで
腹空きました



家で作るもの
面倒だし
あの演歌流れてる
立ち食いそばでも
行くかなあ



♪あたしにやー
都会はー
さぞーすざーたー
人のぬくもりー
あーやしなひー



♪ゆめ月えた
あたしの
晴れ浮きー
かすよーみえなひ
ゆめはなー

しみる……



たいれる 漫画S



田舎し
「たいまんが」

ゴミ袋いっぱくに
入ったビールをみて
流石に2週間ほど
飲む量じゃないだろうと
ヒッ たいれるの☑



未来の世界の猫型ロボット



1. しの



おまけ

作. 葉山

目次

1. しの
2. 語ッ

百々コニは
つちぬこで
ケストマンが
描いたんで
見ろ!!

ちぬみに
ローゼンのギャグ本を
……

このおまけに
おまけのギャグ本を
つ、こむ話……



「触の宴」

アンケート

この本に対するアンケートにご協力下さい。あなたの文章やイラストが掲載されるとポイントがたまります。ポイントが貯まると各種豪華(?)商品が貰えます。なお、紙はこのページのコピーでも別紙でも結構です。アンケートはメールでも郵送(おくづけの住所にお願いします)でもどちらでも結構です。

メールアドレス rrr@wasurena.sakura.ne.jp

あなたの住所氏名・ペンネーム(

Q1 空きの新番組で期待しているもの上位3つをお書き下さい。

- 1位()
2位()
3位()

Q2 「T・LOVEる」のララで話を作るとしたら、どの服装での作品が読みたいですか?
複数OKです。

- 1、回答ベケのドレスバージョン(登場時の服) 2、学校の制服 3、私服 4、浴衣
5、着物 6、ファミレス制服 7、メイド服 8、ナース服 9、スクール水着
10、下着 11、裸 11、その他()

Q3 「T・LOVEる」の春菜で話を作るとしたら、どの服装での作品が読みたいですか?
複数OKです。

- 1、回答ベケのドレスバージョン(登場時の服) 2、学校の制服 3、私服 4、浴衣
5、着物 6、ファミレス制服 7、メイド服 8、ナース服 9、スクール水着
10、下着 11、裸 11、その他()

Q4 「T・LOVEる」の美柑で話を作るとしたら、どの服装での作品が読みたいですか?
複数OKです。

- 1、回答ベケのドレスバージョン(登場時の服) 2、学校の制服 3、私服 4、浴衣
5、着物 6、ファミレス制服 7、メイド服 8、ナース服 9、スクール水着
10、下着 11、裸 11、その他()

Q5 「居酒屋れつど」企画「葉山のためにならない人生相談」
紙面で葉山に相談したい事がありましたらどうぞお書き下さい。
(奴は本当に口が悪いので大丈夫な方のみお願いします)

Q6 その他、ご意見ご感想、こんなのを書いて欲しいというのがありましたらればお書き下さい。
イラストも大歓迎です!

魔公子（以下、魔公）「えー、みなさん夏コミの原稿が忙しい中集まって頂き…」

葉山「あ、俺まだみずきんこのゲスト原稿、手をつけてねーわ」

魔公「お前なー！」

葉山「大丈夫だ、まだ。えーと今回の自己紹介は『最近コレはいいぞ』とオススメする作品を交えてやってくれ」

魔公「んー俺は『TLOVE』ね」

桐屋杏介（以下、桐屋）「…何ですかそれ？」

魔公「ブラックキャットの作者の新連載ですよ！これがねー、いーんだよ！」

桐屋「全然知らない」

魔公「今回の夏コミはそれの本で出すのさ」

葉山「ソノ語りはもう一冊の方でやったからもういいだろ。んじやあ次」

高菜しんの（以下、高菜）「最近『ゼーガペイン』が楽しくてしかたない高菜しんのです。いやね、今週と先週がスゲー面白かったよ」

葉山「アレってサンライズ作品だっけか？」

高菜「そーそー。で、伊東岳彦原作」

葉山「あ、そーなのか。アレは見てないなー…ってソコ！メニューを見ない！」

魔公「え？だって知らないしー」

葉山「…まあいや。次はきりやん」

桐屋「最近の萌え業界からめっきり遠のいた桐屋です」

葉山「別に萌えじゃなくても、コレは良いってのはあるじゃん」

桐屋「そうね…戦争漫画かな」

魔公「ほうほう！どんなの？」

高菜「あ、食いついた」

桐屋「『特攻の島』とか『このくくの守護者』あたりが今熱い」

魔公「おー、いいねいいね」

葉山「ここら辺は俺が駄目でこいつが詳しいのよ」

桐屋「けど魔公子さんが食いついても読者さんの大半はついてこれなくない？」

葉山「だな。じゃ俺の番か。最近『シヤカリキ！』が文庫化して、やっぱ熱いなアレは」

魔公「…えーとさー」

葉山「知らないよなお前は」

高菜「『め組の大吾』の作者の作品」

桐屋「雑誌掲載はチャンピオンだよね、確か」

葉山「そ。ただ文庫は小学館文庫で出たけどな。分かったか魔公子？」

魔公「あのさー、しやかりきコロンブスって何だっけ？」

一同「は？」

桐屋「光GENGIの歌でありますけど」

魔公「そうか！いやーそのフレーズが頭の中から離れなくてさー」

懲りない面々



魔公子

「RED RIBBON REVENGER」代表
車を駐車した100円パーキングの
場所を忘れてテンパる



葉山

「網走ブリズン」代表
魔公子と同じく駐車場所を忘れ
白い目で見られる

葉山「テメーぶつ飛ばすぞ！」

高菜「めちやめちやマイペースだよ」

葉山「もうやだコイツ！魔公子抜きで対談やりてーよ！」

桐屋「何でパラダイス銀河？」

魔公「いや、昔舞台でさー」

葉山「いーよソノネタは！もーいや、さっさと次行け」

魔公「え？葉山は語ってなくない？」

葉山「俺は『シヤカリキ！』
だって言ったろ！」

高菜「記憶に残ってないよこの人」

桐屋「スゲー天然」

魔公「んーと、今回はロードス本「瑞鶴」のアンケートで行きます」

葉山「最悪だコイツ」

桐屋「あ、待つて。俺今年になってからRRRの本見てないわ」

魔公「そうか、最近きりやんイベント出てないからあげてないのか」

葉山「こっちのロードス本は再録一本と新作が載ってるやつで、しんのがゲストイラストで参加してる」

桐屋「何でエロじゃないの？」

高菜「だってさー」

葉山「あ、まずソコで叩くか」

高菜「叩くの前提？ そんな事言うなら葉山さん、アンケートいつも本編よりコメントページの方が気合い入ってるのはどーして？」

葉山「そこにツツコミかよ！ いーじゃん本編なんか」

魔公「良くねーよ！」

桐屋「あ、高遠さん描いてるんだ」

高菜「それが再録のやつ？」

葉山「きりやん、憶えてないか？ ソレが載ってた本にはお前のエメドラのエロ作品が載ってたのを」

桐屋「うわーヤベー！ 思い出して来たよ。そーか、そうだったよ！」

魔公「しんの君はゲストで、きりやんは意外な接点があったな」

葉山「きりやんの黒歴史なヤツだけだな」

桐屋「ヤベー失敗したよ」

葉山「何か今回は最初からギスギスしてるぞ」

魔公「んじやタイミング良く、このアンケート項目からいつてみようか」

◆あなたのストレス発散方法は？◆

居酒屋れっどの



高菜しんの
「GD-KIDS」代表
今回は1時間半しが遅刻しなかった



桐屋杏介
「RoughDriver」代表
下北沢の水先案内人

葉山「変なアンケート取ってるなー。こんな健康的なモノいらなくないか？」

魔公「いーんだよ。ではこちらのご意見」

■P・N イヴの保護者さん 3ポイント

後先考えない買い物(アニメ、ゲーム関係限定)。食費とか足りなくなりますがやめられません

高菜「いきなり否定で悪いんだが：最近なんかで言ってたけど、暴飲暴食とか怠惰はストレスを発散してるんじゃないかと、沈めてるだけなんだって。結局最後は自分に返ってくるから」

葉山「なるほどな。けど、程度によってはコレでいーんじゃない？」

高菜「こーいったのは大体度を越すもんなんだって」

葉山「あー耳に痛いね」

魔公「俺は買い物って言うか、飯と睡眠だね。みんなのストレス発散方法は？」

葉山「俺はトーク。とにかく喋る事だな。これはよくやる。相手はみずきかオメーなんだけど」

魔公「あーよくあるな」

葉山「でな、ネタなら腐るほどあんのよ。きりやんとかなら何日でも話せるぜ」

桐屋「アニメとかマンガとかゲームとか特撮とか映画とか…」

葉山「後、身内のネタとかな。俺はそんなのでストレス発散してる」

魔公「きりやんは？」

桐屋「俺はストレスを発散出来ずにポロポロになつていくタイプなんで、むしろ教えて欲しい側の人」

魔公「ないのかよ」

桐屋「そんな方法知ってたらこんな風になつてない！」

葉山「イタイ事言うな」

高菜「でさ、きりやんの場合そうだった精神状態が

漫画を描くに適してたりするから微妙だよ
ね」

桐屋「それはある。鬱な作品って言うか心の内面
えぐる様なのをネタに描くからな」

魔公「確かにきりやんて人間の負の部分にスポット
当てたやつが多いからな」

高菜「苛めっ子なんだよ」

葉山「・・・どーだろ。きりやんの場合、苛めてる
のに自分もボロボロになって行ってる気がするが」

高菜「じゃあきりやんは真性のマゾだ！」

魔公「しんの君、何言ってるの？」

葉山「因みに俺は男にSで女にMだ」

魔公「お前も何言ってるんだよ。しんの君は？」

高菜「俺は総受けだよ！」

魔公「違うよ！ ストレス発散方法だよ！」

高菜「ああそっちなか。えーっと・・・あったかなあ」

魔公「え？ それはストレスが？ それとも方法
が？」

高菜「方法がだよ！ ちよつとおー！」

葉山「いーね。今のツッコミは冴えてるな」

高菜「俺だってストレスくらいあるんだよ！ けど
その発散方法となるよ」

桐屋「しんのさんてストレスをどういう時に感じて
るの？」

高菜「そうね、『胃が痛いな』とかがあったら『あ、
俺ストレス溜まってんだ』って」

葉山「それって単に体調が悪かったってだけじゃね
ー？」

桐屋「ストレスを感じてじゃ無いんじゃないの？」

魔公「そもそもストレスってそんなハッキリした

ものでもないと思うけど」

高菜「じゃあ、ストレス発散方法は知らないけど、
ストレスを生活の中で消化してるんだよ」

葉山「言わんとしてるトコは分かるけど、ソレって
ストレスを感じないって側に属した答え
なんじゃないのか？」

魔公「だよ。消化してるんだったらそうなる」

桐屋「やっぱ感じてないんじゃない？」

高菜「ちよ、ちよつと待ってよー！」

葉山「いーじゃんソレで。ストレスなんて無い方が
良いんだしサ」

桐屋「そっちの方がキャラに合ってるし決定で」

葉山「じゃあ次だ」

高菜「待って待って！ 今から意見出すから・・・」

※特にこれといったモノが無かったんでカット
します

高菜「うわっ、ゴメン！」

◆読者の感想コーナー◆

■ P・N ともさん

3ポイント

魔公子様のスライムネタ物凄く大変だった様で
お疲れ様です。でも、うーん御免なさい・・・
なんか触手の方が良いです。タイトルもロードス
島淫獄絵巻ですし合いますよ！ 高遠様もイラス
ト触手！ 葉山さんも触手！ これで魔公子様も
触手なら『触手三連星』な触手本だったのに残念
と思いました。やっぱりマスターがいらないと！

葉山「この魔公子のスライムネタはダメだな。
まとまり無いし」

魔公「この本はお前と高遠さんの二人誌の予定だっ
たら。急遽参加で大変だったんだから・・・」

葉山「いい訳はいらん」

魔公「ぐっ・・・スライムもさー、トーンを消しゴムで
ごしごしと結構頑張ったんだよー？ まあ、



■ D・N 高遠さん
「ポイント受賞」



■ D・N イグの保護者さん
「ポイント受賞」

出来映えは自分でも気に入らなかつたけど」
高菜「消しゴムで？ 普通砂消しじゃない？」
魔公「無かつたから消しゴムで。手がつつたよ……」

一同「砂消し買えよ！」

魔公「いや、正月だったし・そうそう、これ正月潰してやったんだぞー！」

桐屋「同人作家に正月は無いですよ」

葉山「イマイチだよなーコレ」

高菜「主線は描いても良かったね」

桐屋「だね。それから光沢の部分の白ヌキした方が良かった」

葉山「散々だなオメー。もーいーから次行け」

魔公「ひつく……俺……消しゴム……がんばっ……マジメに……ずびー……！」

葉山「あー泣け泣け」

◆あなたが萌える女の子との関係は？◆

魔公「こちらはインターネットでのアンケートの項目です。一番多かったのは幼馴染、次が敵、以下は従姉妹、実妹、実姉、女教師、主従、義妹、義姉、女子生徒、娘の順になってる」
高菜「姉とか妹は血の繋がりがあの方に票が偏ってるのが凄いな」

葉山「何か後半のはAVジャンルみてーになつてるぞ」

高菜「敵って、また意外なトコが上位に来たね」

桐屋「昔の熱血モノによくありましたな」

葉山「そんなに嫌いじゃないね。じゃあここでそれぞれの好きな関係を言え」

魔公「じゃあ葉山から」

葉山「俺かよ。俺はベタに『委員長と不良』。これ」



D・N 夢咲望さん
5ポイント受賞



D・N バビルⅢ世さん
6ポイント受賞

魔公「お前それってリヴァイアスじゃないの？」

葉山「違う！ エヴァだ！」

桐屋「トウジと委員長だ」

高菜「また古いので来たねー」

葉山「エヴァも古いになるんだよなー」

魔公「けど、別にトウジは不良じゃないだろ」

葉山「まーそーだがな。けど、コレが好きね。接点が無い二人がある日を境に惹かれ合うみたいなのが良い。オメーはどーよ」

魔公「そうね、敵かな。最近デイスガイア2をやつたんで。素直になれないロザリーが可愛いんだよねー」

でもアンケートの人氣投票では、本もネットもエトナが一番でした。



エトナもまたいいんだわ。ツンが……」

葉山「はい、もう結構。きりやんは？」

魔公「え？ ちよつ……まだ……」

桐屋「ちよつと待って、考えるわ」

魔公「じゃあ俺が……」

高菜「しかしこう見てみると大体対象が年下の方に偏るね」

魔公「……アレ？」

桐屋「けど秋子さんとかはOKってのが多くない」

葉山「ソレってみずきじゃん。おれは早苗さんの方が良いな」

桐屋「早苗さんも良いな」

高菜「お前から何の話をしている」

桐屋「鍵トークですが？」

葉山「何かご不満でも？」

高菜「唐突に鍵っ子に戻るなよ」

葉山「俺は鍵っ子じゃねーよ」

桐屋「俺は生粋の月っ子だし」

高菜「すみません、生粋の鍵っ子です」

葉山「そんなしんのはどんなのが良いよ？」

高菜「そうね……」

魔公「しんの君はあれでしょ、詠美ちゃん様と和樹の関係」

葉山「オメーが答えるなよ！」

高菜「けど、そうだね。他には・・・」

魔公「悠久のパーティと主人公とかだね」

葉山「だからっ！」

桐屋「ライバル兼友達兼恋人ね」

高菜「そうね。最初はいがみ合ってた色々衝突するんだけど、そんな触れ合いからいつしか恋人にみたいなのが好きだね」

まあ、その根っこにあるのはツンデレだけだ

葉山「きりやん、出たか？」

桐屋「えーとね、古典的だけど意外に無いってところで異世界のヒロイン」

葉山「お、いーね。恋人同士になっても最後はそれぞれの世界に帰っちゃうやつね」

桐屋「そうそう、なんてエタメロな話」

高菜「あれはついてくるやん」

桐屋「ついてこないバージョンもあるやん。もおーバットエンド大好き」

魔公「じゃあ異種族間なんてのも良いんじゃないやない？」

桐屋「んー、それも悪くないんだけどもちよっと違うかな」

葉山「時間軸とか絶対的な位置の違いは欲しいな」

桐屋「ですね。後あれだ。男が宇宙パイロットで宇宙に旅立ち、女は地球で暮らしてて、戻って来た時には女が年とってて。下手すりゃ孫娘が出て来る様なトップ世界なやつだね」

高菜「あれだ、絶対にハッピーエンドには行けないやつだ」

桐屋「そーゆーのが好きね」

葉山「病んでるな」

桐屋「何でーっ！」
葉山「ま、好きだけんどもサー」
魔公「お前も病んでるよ」

◆葉山のためにならない人生相談コーナー◆

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」

葉山「サクサク行くぞー」

桐屋「・・・何？このコーナー」

葉山「そっか、きりやんは知らんのか」

魔公「最近始めた新企画。葉山が読者の相談に独断と偏見とその日の気分が無責任に回答する『てめえ何様だ？』ってコーナー。でも読者には人気あるみたい・・・」



■ D・N バビルⅢ世さん
「ポイント受賞」

■ D・N 夢咲望さん
「ポイント受賞」



葉山「やめられない！無理だからそのままヲタでいろっ！ハイ次っ」
魔公「えー？ちよっとー、もっと語れよ」
高菜「就職するからってヲタをやめる必要もないしねえ」
桐屋「つちねこの人達みたいに働いててもヲタを続けてる人もいるしねー」
葉山「そそ。大体ヲタはやめようと思ってやめられるモノじゃねーんで」
高菜「覚醒したら終わりだよ」
魔公「か、覚醒って・・・」
葉山「興味が無くなったら自然とやめられるよ。その時までオタでいろ。あ、就職はしとけよ。以上」
魔公「えらそーに・・・あ、就職と言え、こんなご意見も」

■ P・N イヴの保護者さん 3ポイント

やりたい仕事を見つけたいです。好きでも無い仕事を続けるか、思い切って新天地を目指すか、葉山さんならどっちの(どの様な)行動をとりますか？

葉山「場合による！」

魔公「おい！一言かよ」

葉山「そーねーコレさ、やりたい仕事とか今の仕事がかんなんだからヤダとか具体的に言ってくればまだ答え様もあったんだが」

桐屋「後、仕事をどうとらえるか、ですな」

高菜「『ぶっちゃけ金です』とかだったら日給高けりやいだろーし」

葉山「で、やな仕事って言ってるけど大体仕事にやな事は付き物なんで、それに対して向き合う根性があれば、やめようとやめまいとどーでもなる。そんな感じ」

■ P・N ともさん 3ポイント

年下の女性と上手く付き合うテクニクがあまりましたら、ジェントルメンな葉山さんは非教えて下さい。後、葉山さんは歳の差はどれ位までOKなんでしょうか？

葉山「来たよ恋話！因みに歳の差を気にする？」

高菜「しない。恋に年齢は関係ないよ」

桐屋「俺も同じ意見だね」

葉山「俺も気が合えば歳の差は気にしない。オメーは？」

魔公「年齢は気にしないけど精神年齢は気になるかな」

葉山「けど、年下と付き合うと精神年齢的な問題が必ず出ないか？」

217 っ、ピュル



■ D・N ケコさん 6ポイント受賞

高菜「あー、出るね。その差を埋められなくて駄目になるみたいなのが多いよ」

葉山「年下の方も年上に求めているのは大人な包容力とかじゃん。だから、上手く年下と付き合いたいんだったら大人の包容力を身につけろ！そーすりやちよつとやそつとのワガママなんざ軽ーくかわせるサ。まー男ってどこまで行っても子供の部分を捨てられないトコあるんで無理っばいけど」

魔公「そ、葉山みたいに軽ーくあしらわれます」

葉山「おいっ！お前人が折角大人の男っばい意見を言ってるのに……」

魔公「どうせどつかでポロが出るんだから」

葉山「オメーが穿り出さなくともいいんだよ！」

高菜「そんなアンケート取ったんだ」

葉山「意見で来たのかよ」

魔公「来た来た。じゃあまずはこの人から」

◆ RRRRの「」を「」した方が良い ◆

高菜「そんなアンケート取ったんだ」

葉山「意見で来たのかよ」

魔公「来た来た。じゃあまずはこの人から」



■ D・N 蘭るるるさん 7ポイント受賞

■ P・N エセルドリーダさん 3ポイント

セリフをもっとエロエロにして読者に興奮をかき起させる様なセリフを作って欲しい。そうすればもっとエロい同人誌を作る事が出来ると思う

葉山「魔公子、オメーはどうよ」

魔公「そうね、もうちよつときわどくしても良いかなとは思っけど」

葉山「この人が言ってるのは露骨な淫語の事だろうからソレじゃ駄目じゃねー？」

魔公「露骨な隠語かー。キャラクターによっては『このキャラはこんな事絶対言わないだろ』ってのがあから、ウソ臭くなっちゃう場合があるんだよね。逆に『あのキャラがこんな事を……』って効果もあるから、キャラによって程度を使い分ける必要があるかな」

■ P・N KIDさん 3ポイント

このままで行って欲しいです。イラスト本やグレ

スケ処理などの本文データ原稿本が多い昨今、ちゃんとした漫画で、しかもアナログでやってるサークルさんは数少ないと思います。しかもこれだけ速い発刊ペースで、強いて言えばもう少しページが欲しいですが、このクオリティが維持されるのでしたら満足です

葉山「魔公子……。しんのがいる時にこの意見は、ちよつと……」

高菜「大丈夫だよ。最近ではグレスケ本とか出してないし」

魔公「『最近』って……」

葉山「しんの場合、余計な言葉が頭に付くよな」

高菜「いやー、ここんとこねー……」

桐屋「しんのさん、北朝鮮みたいない言訳やめましようよ」

高菜「クソつ、ミサイル撃ってやる！」

魔公「話を戻して、本文デジタルだけ……」

葉山「デジタル嫌いなんだよ。プラスチックみてーで。みずきともよく話してるっけ」

桐屋「みずきさんは生粋のアナログ派ですからね」

高菜「表紙もコピックだし」

葉山「めちやめちやアナログだな」

魔公「あ、みずきさんのネタが出たんでこの意見」

葉山「いいな。こいつ大好き。ネタで書いた感が無いもの」

■ P・N 可憐大好きっ娘さん 3ポイント

神原みずきさんのサークル『つちねこ』の同人誌の通販が出来れば良いと思います

葉山「良いね！こいつ最高！」

桐屋「え？でもコレって『RRR』をこうした方が

良い』って質問なんじゃ……」

高菜「英雄の器だね。真面目に書いてる」

桐屋「ただここはRRRなんだよー」

魔公「この方はよっぽどみずきさんの本が好きなんだね」

葉山「あ、今回の夏コミ、みずきの新刊にゲスト参加してるんでよろしく」

魔公「宣伝多すぎないかお前。で、オチなんだけど今のネタを引っ張って、しんの君ときりやんにうちのサークルに対しての事を聞こうか」

葉山「つーか、俺はむしろ対談に対して意見が欲しいね。いーかげんマンネリなんで」

高菜「組み合わせを変えてくつてのはどう？」

魔公「あー、それは考えた事あるけど住んでる場所とかネタが通じるかとかでなかなか難しいんだわ」

葉山「例えば、しんのとあかりとみずきで群馬で対談とか無理じゃん」

魔公「どうしても面子はねー」

高菜「じゃあコレは？対談参加の面子をあらかじめネットで告知して質問とか意見を募集するのよ」

葉山「おー、面白いなソレ」

魔公「出来るか？告知してから対談までの日数を確保しなきゃならんし」

葉山「ソレは何とかなるんだが……質問や意見が無いとキツいな」

魔公「参加者の認知度がどの程度なのかが分からないんでありうるかも」

桐屋「けど、アンケート送ってくるのは常連が多いし大丈夫っぽいけど。それから魔公子さんと葉山さんがそれぞれで対談やるのってどう？」

葉山「やりたい！」

桐屋「例えばこの四人だと、魔公子さんとしんのさん、葉山さんは俺と、みたいなやつ」

葉山「いーね！俺とやんきりだと読者がついてこれるかが不安だが、正直魔公子抜きで対談やりたいとは思ってたんで、そのうち実行します」

魔公「ちよつと、決定してないぞ！まだ提案だから」

葉山「何だよオメー、ちよつとはココを面白くしようって気があんのかよー」

魔公「お前は、自分が楽しめるようにしようとしてるだけだろ！」

葉山「いや、ちゃんとやってるぞ。オープニングがドラツとしてるからテーマを交えて語らせたり、葉山の人生相談コーナー作ったり、タイプ打つ時に少しでも面白くしようとかサー。今回色々意見が出たんだから実験的でもいーからやれよ！」

魔公「『葉山の人生相談コーナー』こそ、自分が楽しみたいだけだろうが！全く原稿は描かないくせにこういう事だけ……。まあいいや、とりあえず考えとこう。今回の対談はこんなとこかな」

葉山「ぶっちゃけ後半は俺が編集しまくりで原型留めないだらうけどな」

高菜「な、何故？」

葉山「お前らほぼ雑談だったからだよ！」

桐屋「またとーぶん呼ばれないなあ」

葉山「だもんで今回はもお終了、お疲れ！」

魔公「オチも考えないといかんね」

葉山「そーね……」

終わり



とらぶるめーかー



R·R·R
95TH BOOK
FOR ADULT ONLY

To LOVEる - とらぶる 本第1弾

「とらぶるめーカー」

各同人誌書店にて委託販売中!

(店舗によっては完売しております)

ララ・春菜・そしてあのキャラも...?

第3弾も冬コミ発行予定!

(さらにブラックキャット本も...!?)

RED RIBBON REVENGER 帝国興亡史

第59章『史上最大の悲劇』



時は21世紀。前世紀より続く世界同人大戦の戦火は未だ冷めやらず、各サークル国家は持てる力の全てを注いで創作活動に励んでいた。この物語はそんな激動の時代を生き抜いた『RED RIBBON REVENGER』帝国のゆかいな仲間たちの物語である。

帝国総統魔公子は憂鬱だった。西暦2004年の上半期における戦いは、想像以上の成功を収め、帝国の基盤はより確固たるものとなったはずであった。ところが、6月サンクリで行われた『鋼』作戦が辛うじて成功を収めたもののつまずきをみせ、さらに8月夏コミの『妹&修道女』作戦がまさかの失敗に終わったのである。コミケにおける敗戦はここ数年例が無かっただけに、魔公子の落胆は大きかった。しかも最近では体調もダルいし、葉山はよく原稿を落とすし、と悪い事が重なっていたのである。冬の一大決戦まであと3ヶ月を残すのみとなったある秋の日の午後であった。

だが、ここで手をこまねいては滅亡への坂道を転がり落ちるだけである。今までも数々のピンチに陥りつつも、その都度不屈の精神とピンク妄想力で乗り越えてきたのだ。今回も逆境をバネに困難を乗り越えてみせる！

9月末、魔公子少将はメンバー会議を開き、冬コミ作戦の詳細を煮詰めた。結果「ガンダムSEED DESTINY」と「なつかしのRPG」の両作戦に決まりかけたが、なつかしのRPGに関して魔公子少将と葉山大佐がそれぞれ「テイルズオブファンタジア」と「ロードス島戦記」を主張した為、メンバーを2つに分けて両方行うこととなった。「テイルズオブファンタジア」が魔公子少将と伊吹渡元帥、「ロードス島戦記」が葉山大佐と高遠寿菜元帥である。主力メンバーを2つに分けての2冊同時発行というのは、帝国初の試みである。

東部エレジェ戦線が9月に行われた『風の妖精2』作戦によって一時的に安定した為、冬の作戦における主戦場は太平洋戦線となった。今年春には『暗転』『触』『幻夢』の3大作戦によって南方資源帯を手中に収め、

長期の戦争継続が可能になった帝国軍は、この冬一気に攻勢をかけようとしていたのである

10月上旬、帝国軍は新刊空母の建造に取りかかった。「SEED DESTINY」「テイルズオブファンタジア」「ロードス島戦記」はそれぞれ『飛龍』『翔鶴』『瑞鶴』と命名され、帝国軍期待の新造空母となるべく、急ピッチでの建造が進められた。各メンバーも自分の担当する艦載機の訓練に勤しんでいるはずであった。各空母の搭載機は下記の通りである。

- 『飛龍』 ルナマリア式艦上戦闘機14機（魔公子少将）
ステラ式艦上爆撃機16機（高遠寿菜元帥）
ステラ式艦上爆撃機16機（伊吹渡元帥）
たいまんが式艦上偵察機3機（たいれる元帥）
- 『翔鶴』 アーチェ型艦上戦闘機16機（魔公子少将）
すず式艦上爆撃機10機（伊吹渡元帥）
ミント式艦上攻撃機10機（伊吹渡元帥）
たいまんが式艦上偵察機4機（たいれる元帥）
- 『瑞鶴』 ディードリット式艦上戦闘機16機（高遠寿菜元帥）
小ニース式艦上攻撃機12機（葉山大佐）
はやまんが式艦上偵察機3機（葉山元帥）

三艦合計120機を擁する大機動部隊である。この戦力をもってすれば冬コミ作戦の成功は間違い無しと、魔公子少将は意気揚揚であった。

11月下旬、三艦とも船体が完成、表紙入稿が完了した。これは多忙な中、3枚同時のCG担当をしてくれたたいれる元帥の尽力によるものであった。そして時を同じくして『翔鶴』の艦載機が揃った。伊吹渡元帥の担当機がそれぞれ2機ずつ間に合わなかったものの、新刊1冊目は無事完成したのである。ロードス艦『瑞鶴』の担当機は遅れていたが、まだ時期的に問題は無かった。魔公子少将は早速『飛龍』のルナマリア機の製作に取りかかった。強気、ミニスカ、ニーソックスと自分の趣味にバッチリなルナマリアの原稿に、魔公子少将はノリノリであった。残り二人は最初からステラ派だったようだが、魔公子がステラの良さに目覚めるのは数ヶ月先のことである。

そして入稿最終日、全ての作業から開放されるはずだった…のだが…。突如帝国軍基地に空襲警報が鳴り響いた。いつの間にか周辺海域に忍び寄っていた敵艦隊から発進した攻撃隊が空襲をかけてきたのである。『飛龍』『翔鶴』『瑞鶴』の3空母はまだ湾内で停泊中で出港はできない。飛行場に集結中のはずの艦載機に迎撃命令が出たのだが…。

各メンバーの艦載機は揃っていなかった。『飛龍』で間に合ったのは魔公子少将のルナマリア機とたいれる元帥のたいまんが機のみ。『瑞鶴』に至っては一機も間に合わなかったのである！表紙はすでに完成しているものの、中身が無いのでは本はできず、入稿当日では魔公子少将にもどうしようもなかった。

魔公子少将とたいれる元帥のわずかな数の迎撃機が上がったものの、100機を越える敵編隊を阻止することは叶わず、湾内には敵機の爆弾が降り注いだ。まず『飛龍』の飛行甲板を500kg爆弾が直撃、格納庫に達して破裂した爆弾は艦内をめちゃくちゃに破壊した。さらに数発の直撃弾を食らった『飛龍』は艦の中央部から紅蓮の炎を吹き出し、瞬く間に艦全体が燃え出した。もはや艦載機の発着艦だが不可能なのは、誰の目にも明らかだった。だが『飛龍』はまだ幸いだった。一機の直掩機も無い『瑞鶴』は低空から接近した雷撃機の魚雷を艦首に食らい、大量に浸水して艦首方向から静かに沈み出した。湾が浅い為に沈没は免れたものの大破着底し、さらに爆弾を浴びて飛行甲板も穴だらけにされてしまった。完成していた『翔鶴』だけは脱出に成功し、奇跡的に無傷で済んだものの、帝国軍は作戦開始前に戦力の3分の2を失い、壊滅的な状況となった。このままでは夏コミの悪夢の再現である。いや、予定が大幅に狂っている分、今回の方がより酷い結果になるのは目に見えていた。

だが、魔公子はまだ諦めていなかった！あるいは、あまりにも予想外の状況に追いこまれて、種が弾けたのかもしれない。わずか数時間で新たな表紙を1枚あげ、既に完成していたルナマリア機をメインにSEED DESTINY本を再編しようとしたのである。新たな表紙の艦は『祥鳳』と命名された。わずかに伸びた本文締め切りまでの間に葉山大佐がミリアリア機4機、伊吹渡元帥がルナマリア機とステラ機各1機をあげてくれたので、それらを合わせて『祥鳳』はなんとか完成した。さらに、折り本の締め切りまでまた数日あると知った魔公子少将は無料配布本『瑞鳳』を作るべく、地獄の不眠耐久レースに突入した。結果、魔公子少将、伊吹渡元帥合わせて天満機1機、八雲機2機、沢近機2機、一条機1機、形部機1機、ヨーコ機1機、エルウィン機2機を搭載した『瑞鳳』も完成した。艦載機数を大きく減らしてしまったものの、3隻の空母は辛うじて揃ったのである。

あとは冬コミの作戦当日を待つのみ。力尽きて呆然と朝日を見つめる帝国総統魔公子の瞳には、61番トーンの残像だけが映っていた…

つづく

次回以降新刊予定（あくまで予定・企画です）

次回新刊は10月か12月発行を予定しています。

まずは今回の本の続編…

☆「触の宴後編 仮）」（ToLOVEる-とらぶる-本第3弾）

ギ・ブリーに捕まってしまった春菜は、さらなる恥辱に耐えられるのか…？
今回よりも3倍エロく！が目標です！！

☆「とらぶるめーがー2(仮)」（ToLOVEる-とらぶる-本第4弾）

宇宙人に襲われるうらとか、リトと春菜の甘酸っぱい話とか。あるいはリトと美柑の禁断の…などなど。ネタはいろいろ！

☆「ハヤテのごとし!?4」「黒猫のごとし!?2」

まだ漫画を描いていないサキさんとか、西沢さんとか…。
イヴやキョウコの話も描きたいです。

☆その他、折り本・コピー本等は各イベントで当日のみの販売をするかもしれません

次回イベント予定

（スペースは全て「RED RIBBON REVENGER」で参加しています）

☆池袋 10月1日 サンシャインクリエイション32

☆有明 12月 コミックマーケット71

☆他にもオンリーイベントや地方イベントに参加するかも知れません

触の宴

発行 RED RIBBON REVENGER

総裁 魔公子

副総裁 葉山

| | | | | |
|--------|---------------------------|-----------|-----|-----------|
| 発行日 | 初版 | 2006'8'13 | 再版版 | 2006'10'1 |
| 印刷所 | コーシン出版 様 | | | |
| 編集 | 魔公子 | | | |
| 表紙原画 | 魔公子 | | | |
| 表紙CG彩色 | たいれるさん(いつも本当にありがとうございます!) | | | |

※禁無断転載、無断複写。

サイト <http://www.wasurena.sakura.ne.jp/~rrr/>

メアド rrr@wasurena.sakura.ne.jp

お問い合わせ 〒352-8799 新座郵便局私書箱43号「R・R・R」

10月サンシャインクリエイションのサークルカット→





PRESENTED BY

RED RIBBON REVENGER

FOR ADULT ONLY